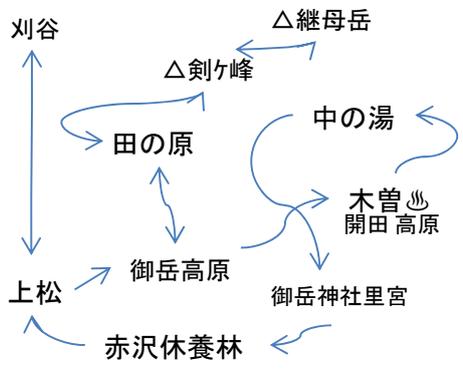


例会 9月度 個人 山行報告書		報告者 青山 報告日 2013/9/3	参加 メンバー CL 塚本(英) 青山
配布先 総会参加数	山域 北アルプス南部 山名 御岳山	山行日 8/27(火)~29(木)	
山行:1	夏山登山	コースタイム(天候:雷雨後晴れ)	
リーダー	ルート図(地図を見て正確に)	8月27日 刈谷発 12:50 田の原(駐・泊) 16:42	 田の原から剣ヶ峰を望む  6合目の夜明け
原紙: 会事務局		8月28日 起床 4:25 田の原発 5:48 8合目 6:45 剣ヶ峰山頂 8:38 継母岳山頂 12:15 剣ヶ峰山荘(下り) 13:30 田の原(駐) 16:42 黒沢(中の湯・泊) 18:00	
		8月29日 中の湯発 8:30 御岳神社里宮 10:30 赤沢休養林(森林鉄道)12:00 刈谷着 15:10	

【山行報告】

8/27(火)~29(木)の間、猛暑を凌ぐため御岳山に行きましたので報告します。
 8/27(火)快晴で酷暑のなか塚本宅を12:50出発、豊田南ic~恵那sa~中津川icを経て国道19号で上松へ上松から王滝村方面に入り牧尾ダムに来ると橋の工事のためダムの左岸を迂回して王滝村に着いた。ここからはおんたけスキー場の林道を30分ほど上り田の原の駐車場に16:42に到着した。
 今日はここでテント泊とする。夜食はうどんすきで乾杯の宴後8:00に消灯して就寝・・・(フリース1枚では寒い・・・)
 8/28(水)4:25起床 インスタント五目めしとたまごスープで朝食を済ませ5:48に田の原を出発した、天気は晴れ御岳山の登山口は王滝口、黒沢口、開田口からの3コースと岐阜県側の濁河口からのコースがあるが今日は田の原(王滝口)から登り剣ヶ峰~継母岳、明日は中の湯(黒沢口)~女人堂~三の池~継子岳に登ることにした御岳神社の大鳥居から崇拝所までは参道のため平坦な道で順調に進み、崇拝所を過ぎると幅広の木材の階段や石段の登りを進むみ7合目の手前辺りから傾斜がきつくなり、森林限界を抜けると金剛童子像がある8合目に着く。溶岩と火山灰の中に、さらに傾斜の増した岩道を進むと9合目だ、もうひと頑張りして王滝頂上に着いた。王滝頂上山荘前で休憩後王滝頂上神社の横を通り左に地獄谷を眺めながら八丁ダルミの砂礫道を行く。瓦礫の斜面を登ると2軒の山小屋が有り上の小屋から右手に二の池のまき道と分かれて石段(82段)を上ると御岳奥社がありその右に剣ヶ峰の頂上(3067m)の1等3角点がある。眼下にコバルト色した二の池が見える、ここから360度の展望が広がり摩利支天や継子岳その奥に乗鞍岳、北アルプス、加賀の白山の雄姿が見える。また南東の方面に目を移すと中央アルプス、南アルプス、その真中に富士山が大きく見えた。
 記念写真を撮り継母岳に行く事にして剣ヶ峰の奥社の横からお鉢巡りの道を少し下り地獄谷の上の稜線を行くと継母岳への下り口は鞍部の方を見ると大きな岩石に○印の道標が見えたのでガレ場だが道標目当てに下る事にした、○印の道標とケルンを頼りに広い鞍部に着いた。この上は岩峰の岩登りなる、ストックをリュックに収めてロッククライミング体制で慎重に登る。鞍部から30分程で継母岳頂上の祠に着いた、記念写真を撮り下る。下りは浮石に注意して慎重に下りたが途中1m位の岩が崩落して塚本氏の後3mの位置で止まった。(塚本氏が瞬間的に5m程横飛びに避けて大事に至らなくて安堵した。)その後帰りは往路を田の原へ下山した。継母岳が厳しく剣ヶ峰からの下りは膝ががくがくになり上り以上に時間が係り田の原に16:45にやっと着いた。木曾川で入浴して黒沢口の中の湯に移動して駐車場でラーメンの夜食後設営して20:00頃就寝した。
 8/29(水)7:30起床 昨日の疲労がきつく筋肉痛で今日の登山は無理の結論に達して赤沢休養林で森林浴し帰る事になり刈谷(塚本宅)に15:15に到着して無事に御岳山行を終了した。

a

リーダー所見

今回の山行は天候に恵まれ3000mの展望を満喫したが継母岳が予想外に時間を要した為疲労と筋肉痛で2日目の予定を実行出来なかった、体力の衰えを感じた山行でした。



継母岳頂上にて



剣ヶ峰頂上にて

(リーダー)
塚本

作成
(報告者)
青山

